

2024年度（令和6年度）に使用する
福山市立小学校用教科用図書について

（答申）

2023年（令和5年）7月31日

福山市小学校用教科用図書選定委員会



2023年(令和5年)7月31日

福山市教育委員会 様

福山市小学校用教科用図書選定委員会
会長 川崎 真由美



2024年度(令和6年度)に使用する福山市立小学校用
教科用図書について(答申)

貴教育委員会から2023年(令和5年)5月29日付で諮問されましたこと
について、当選定委員会は、調査員に対して「調査の観点」を示し、調査研究を
依頼しました。

そして、調査員による専門的な調査研究の報告及び教科書展示会での市民ア
ンケートを参考にして慎重に審議するとともに、特徴等を整理した資料を別紙
のとおり作成しましたので、答申します。

目 次

1 調査研究報告書

(1) 記載の順序	1
(2) 国語	2
(3) 書写	5
(4) 社会	8
(5) 地図	11
(6) 算数	13
(7) 理科	17
(8) 生活	20
(9) 音楽	24
(10) 図画工作	26
(11) 外国語	28
(12) 家庭	32
(13) 保健	34
(14) 特別の教科 道徳	38

2 教科書展示会アンケート集計結果

3 参考資料

- ・ 2023年度(令和5年度)使用福山市立小学校用教科用図書一覧 46
- ・ 2024年度(令和6年度)使用小学校用教科用図書一覧 47

1 調査研究報告書

(1) 記載の順序

福山市立小学校用教科用図書調査研究報告書に記載している順序は、文部科学省の「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名
2	東 書	東京書籍株式会社
4	大日本	大日本図書株式会社
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社
1 1	学 図	学校図書株式会社
1 5	三省堂	株式会社三省堂
1 7	教 出	教育出版株式会社
2 6	信 教	一般財団法人信州教育出版社
2 7	教 芸	株式会社教育芸術社
3 8	光 村	光村図書出版株式会社
4 6	帝 国	株式会社帝国書院
5 0	大修館	株式会社大修館書店
6 1	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
1 1 6	日 文	日本文教出版株式会社
2 0 7	文教社	株式会社文教社
2 0 8	光 文	株式会社光文書院
2 2 4	学 研	株式会社 Gakken

(2) 国語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい国語
17	教 出	ひろがる言葉 小学国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	各単元における目標の示し方
		② 言葉の特徴や使い方に関する事項	語彙を豊かにするための語句の示し方
		③ 情報の扱い方に関する事項	情報の扱い方についての示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容
		⑤ 課題解決的な学習を実施するための工夫	課題と学習の進め方
		⑥ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程、資料、評価活動
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数
		⑧ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元等数、単元名等、取り上げられている作品等
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 巻頭の示し方	巻頭の示し方と内容
		⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用	文章と図表等との関連について考えさせる記述
(オ)	言語活動の充実	⑪ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されている話題、話合いの形態、役割
		⑫ 学校図書館機能の利活用	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

【 国 語 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 全学年で、「言葉の広場」を設けている。第5学年では、「例を示すときに使う言葉」「思考に関わる言葉」などの4項目を示している。二次元コードにより、全学年の「言葉の広場」を見ることができる。</p> <p>イ 第2～6学年「読むこと」の単元では、単元の導入ページに「学習の流れ」として、3つの学習過程に沿った学習内容と言語活動を設定している。単元末では言語活動を具体的に示し、児童の吹き出しで学習活動の一例などを示している。</p> <p>ウ 第1～4学年は上下巻2冊，第5・6学年は1冊構成である。各領域の単元を「見通す」「取り組む」「ふり返る」の3ステップで構成している。「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習を設定している。年間総単元数は、第1学年：14単元（下巻のみ）、第2学年：26単元、第3・4学年：19単元、第5学年：18単元、第6学年：17単元である。（小単元を除く）</p> <p>エ 第2～6学年で、学習の進め方、各単元で身に付けたい力を示している。</p> <p>オ 全学年で、話し合う単元を1つずつ設定している。第6学年では、議題について自分の立場を決め、グループで話し合う活動を示している。</p>
教育出版	<p>ア 全学年で、「言葉の木」を設けている。第5学年では、複合語や同じ言葉の使い方を示している。</p> <p>イ 全学年「読むこと」の単元では、学習の手引きで、4つの学習過程に沿って、読み取り方を例示するなど課題に対する手立てを示し、下段に児童の言葉で思考例を示している。</p> <p>ウ 全学年で、上下巻の2冊構成である。第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材を配置している。年間総単元数は、第1学年：8単元（下巻のみ）、第2・3学年：14単元、第4学年：16単元、第5・6学年：11単元である。（小単元を除く）</p> <p>エ 全学年で、当該学年で学ぶこと（教材名・単元名・身に付けたい力）の一覧を示している。</p> <p>オ 全学年で、話し合う単元を1つずつ設定している。第6学年では、様々な立場になり、主張を明確にして討論するパネルディスカッションを提示している。</p>

- ア 全学年で、「言葉のたから箱」を設け、「人物を表す言葉」「事物を表す言葉」「心情を表す言葉」などとして、3項目に分けて示している。二次元コードにより、下学年の言葉を見ることができる。
- イ 第2～6学年「読むこと」の単元では、学習（手引き）に「問い」と「目標」を設定し、4つの学習過程に沿って、学習課題や課題に取り組むための視点、言語活動の例を示している。
- ウ 第1～4学年は上下巻2冊、第5・6学年は1冊構成である。全学年で、複数の領域を相互に関連づけた複合単元を設定している。第3学年以上には、「読むこと」の単元1つにおいて、教材文を読むための導入教材〔練習〕を配置している。年間総単元数は、第1学年：11単元（下巻のみ）、第2学年：19単元、第3・4学年：15単元、第5・6学年：14単元である。（小単元を除く）
- エ 第2～6学年で、学習の進め方を示している。また、領域ごとに当該学年で学ぶこと（教材名・身に付けたい力・学習用語）と前学年の学習内容を対比させる形で示している。
- オ 第2～6学年で、話し合う単元を1つずつ設定している。第6学年では、自分たちが中心となって行う活動について、目的や条件を明確にし、グループで話し合う活動を示している。

(3) 書写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい 書写
17	教 出	小学 書写
38	光 村	書写

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の目標の示し方と目標の数
		② 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方	正しい姿勢、点画の書き方、用具の扱い方の写真・イラストの示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 課題解決的な学習を実施するための工夫	学習過程の示し方と構成等の特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④ 単元等の配列、分量	各学年の総ページ数、毛筆教材数、硬筆単元数、硬筆記入欄のページ数、二次元コード数
		⑤ 伝統と文化に関する内容の記述	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容とページ数、伝統的な言語文化に関する内容とページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫	筆順の示し方、紙面構成等
(オ)	言語活動の充実	⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名等の例、各学年の教材数

【 書 写 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 全学年で、「見つけよう」として、文字を観察したり比較したりして課題を見出させる形で目標を示している。</p> <p>イ 第2～6学年で、「書写の学び方」として「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」という学習過程を示している。全学年で、硬筆文字から課題を見出し、解決する「書写のかぎ」（正しく整った文字を書くために必要な知識・技能）を見つけ、硬筆や毛筆で確かめたり他の文字に生かしたりする過程としている。また、全学年で、二次元コードにより、書く際のポイントや気をつけることを動画で確かめて書くことができるようにしている。</p> <p>ウ 書写の歴史については、第1・2学年で漢字の成り立ち、第3～6学年で世界の文字や活字・文字の歴史などを示している。伝統的な言語文化に関する内容は第2～6学年で示し、昔話、和歌、俳句、古文、漢文などを取り上げている。</p> <p>エ 第3～6学年で、「確かめよう」として、穂先の通り道を示した写真を掲載し、「生かそう」に書き込み欄を設けている。</p> <p>オ 全学年で、「生活に広げよう」等として、実の場に活用する単元を年間3つ設定している。日記、原稿用紙、ノートなど日常生活での活用、観察記録、新聞、ポスターなど国語や他教科の学習での活用、お礼の手紙や6年生に送る言葉など相手に伝えるコミュニケーションでの活用を示している。</p>
教育出版	<p>ア 全学年で、学習の始めになぞったり試し書きをしたりし、課題発見のための観点を考える活動、目標を示している。</p> <p>イ 第2～6学年で、「学習の進め方」として「つかむ・考える」「確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」などの言葉で、学習過程を示している。自分の書いた文字と教材を比較・検討し、気付いたことを生かして書く構成になっている。学習の始めに書いた試し書きと、終わりに書くまとめ書きを比べられるよう、配置している。また、全学年で、二次元コードにより、書く際のポイントや気をつけることを動画で確かめて書くことができるようにしている。</p> <p>ウ 書写の歴史については、第1・2学年で漢字の起源、第3・6学年で筆記具の製造法、第3～6学年で平仮名・漢字・文字の成り立ちなどを示している。伝統的な言語文化に関する内容は第2～6学年で示し、昔話、俳句、短歌などを取り上げている。</p> <p>エ 第3～6学年で、「考えよう」として、穂先の通り道を示した写真を配置し、「ためし書き」「まとめ書き」に書き込み欄を設けている。</p> <p>オ 全学年で、「レッツ・トライ」として、ノート、メモ、発表資料、ポスター、リーフレットなどを示している。学校生活や学習活動のどの場面で生かせるかが分かるように、「～で生かす」という印を付けている。また、「書いて伝え合おう」として、ありがとうカード、招待状、学級新聞づくり、年賀状、卒業制作などを設定している。</p>

- ア 第3～6学年で、「考えよう」として、整った文字の書き方を考えたり話し合ったりする活動、目標を示している。
- イ 第3～6学年で、「学習の進め方」として「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習過程を、各教材の下段に示している。観察や比較を通して整った文字の書き方を考え、実際に書いたり話し合ったりして確かめ、学習したことを生かして、鉛筆で書く構成としている。また、全学年で、二次元コードにより、書く際のポイントや気をつけることを動画で確かめて書くことができるようにしている。
- ウ 書写の歴史については、第1学年で漢字の成り立ち、第2・3学年で、筆記具の製造法、第4～6学年で身近な文字や手書き文字と活字、文字の歴史などを示している。全学年で、平仮名・片仮名の表を示している。伝統的な言語文化に関する内容は第3～6学年で示し、ことわざ、俳句、古文などを取り上げている。
- エ 第3～6学年で、教材文字の右上に穂先の通り道を示した写真を配置し、「生かそう」に書き込み欄を設けている。
- オ 全学年で、「書写広げたい」として、お礼状、手紙、リーフレット、インタビューメモ、パンフレットなど、国語と連動したり他教科に生かしたりする教材を2つ以上設定している。第2～5学年で、連絡帳、ノート、新聞などの例を書くときのポイントとともに示し、第6学年では、学習したことを日常生活に広げる「書写ブック」を綴じ込んでいる。第2～6学年の巻末に「資料」として原稿用紙の使い方、都道府県の漢字などを示している。

(4) 社会

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会
17	教 出	小学社会
116	日 文	小学社会

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 目標の示し方	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	(第3学年) 地図帳の使い方の例 (第4学年) 47都道府県の名称と位置についての扱い (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例 (第6学年) 世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方 (第6学年) 歴史上の人物の扱いと具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	学習の進め方とその具体例及び体験的な学習を実施するための工夫
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元や資料等の配列、分量	単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い
		⑥ 現代的な諸課題の扱い	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	写真・地図・グラフ等の資料及び小単位における資料の種類と数
		⑧ 本文以外の記述の工夫	脚注・側注の扱い
		⑨ 資料読取りのための工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑩ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例と具体例
		⑪ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫	収集した情報を基に、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

【 社 会 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 各学年で、見開きページに「どのように～でしょうか」「どのような～でしょうか」など、1 単位時間のめあてを問いかけの形態で示している。</p> <p>イ 第3・4 学年及び第5 学年上と第6 学年政治・国際編で、「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程を示している。単元ごとに「学習問題」を示し、表現活動でまとめを行う「まとめる」のページを設けている。</p> <p>ウ 自然災害から人々を守る活動について第4 学年で取り上げ、千葉県其自然災害を扱い、導入としてさまざまな自然災害（2 ページ）、続けて風水害（16 ページ）を掲載している。発展として和歌山県和歌山市の地震（2 ページ）、長野県大滝村御嶽山の火山災害（2 ページ）の順に掲載している。</p> <p>エ 二次元コードにより、導入の動画やインタビュー動画、ワークシート、学び方の解説、クイズなどを見ることができる。</p> <p>オ 第6 学年では、戦後の日本の変化について「現在の社会に重要なえいきょうをあたえたできごとを一つ選ぼう。」「そのできごとが、現在にどのようなえいきょうをあたえたのかを考え、文章にしてみよう」などとして、図、表、せりふ、カード、ノート、新聞、キャッチフレーズなどを用いた言語活動を提示している。</p>
教育出版	<p>ア 各学年で、見開きの左側に、「この時間の問い」として、「どのように～だろう」「どのような～だろう」など、1 単位時間のめあてを問いかけの形態で示している。</p> <p>イ 各学年で、「社会科の学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「次の学習や暮らしにつなげる」という学習過程を示している。単元ごとに「みんなで作った学習問題」を示し、表現活動でまとめを行う「まとめる」のページを設けている。</p> <p>ウ 自然災害から人々を守る活動について第4 学年で取り上げ、導入としてさまざまな自然災害（2 ページ）、静岡県地震災害・津波災害（16 ページ）を掲載している。選択として新潟県三条市の水害（12 ページ）、北海道伊達市有珠山の火山災害（2 ページ）、秋田県秋田市の雪害（2 ページ）の順に掲載している。</p> <p>エ 二次元コードにより、動画、ワークシート、関連している web サイトのリンク、資料の読み取り支援、クイズなどを見ることができる。</p> <p>オ 第6 学年では、「戦後の社会のできごとについて、カードに書き出し、タイトルをつけよう」などとして、図、表、カード、ノート、新聞、順位付け（ランキング）、プレゼンテーションソフトを用いた言語活動を提示している。</p>

- ア 各学年で、見開きページの左側に児童のイラストとともに「どのような～だろう。」
「どのように～だろう」など、1 単位時間のめあてを問いかけの形態で示している。
- イ 各学年で「社会科の学習の進め方」のページを設け、「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という学習過程と対応したつけたい力を示している。单元ごとに「学習問題」を示し、考えたことや調べたことを表現する活動を設定している。
- ウ 自然災害から人々を守る活動について第4 学年で取り上げ、東京都の自然災害を扱い、導入としてさまざまな自然災害（2 ページ）、続けて風水害（18 ページ）を掲載している。選択として、阪神・淡路大震災（6 ページ）、和歌山県の津波（6 ページ）、宮崎県高原町新燃岳の火山災害（4 ページ）、青森県弘前市の雪害（2 ページ）の順に掲載している。
- エ 二次元コードにより、写真や動画、ワークシート、関連している web サイトへのリンク、資料の読み取り支援などを見ることができる。
- オ 第6 学年では、「学習したことをノートにまとめ、学習問題について、自分たちの考えを話し合いました。」などとして、図、表、カード、ノート、タブレット、新聞を用いた言語活動を提示している。

(5) 地図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい地図帳
4 6	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 地図帳に関する説明の仕方の工夫	地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるための例
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	作業的・体験的な学習課題の例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元や資料等の配列	統計資料と地図の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 資料読取りのための工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の例
		⑧ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	地図を活用した表現の例

【 地 図 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 二次元コードを掲載しており、日本や世界の白地図がダウンロードできたり、日本の特徴ある地形について説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。</p> <p>イ 全般にわたり、キャラクターの吹き出しで、問いかげや地図活用の手がかりなどを紹介している。「日本の伝統文化◇歴史的景観、祭り、食文化」で、各地の祭りの位置をイラストで示すとともに、世界文化遺産等の写真を掲載し、地図に位置を示している。</p> <p>ウ 日本とそのまわりを見渡す地図に始まり、日本の各地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計資料、索引の順で配列している。各地域を比較できるように、日本の地図において、各地方図は100万分の1（北海道は160万分の1）と50万分の1で、都市図は5万分の1で示されている。</p> <p>エ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字情報を読み取りやすくするため文字を縁取りしている。色覚特性のある児童も判別しやすくするため、「畑」、「果樹園」、の凡例には色の下に地紋を入れている。</p> <p>オ キャラクターの吹き出しで、具体的な観察の視点を示している。「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」のコーナーで、地図を活用する作業や問いを掲載している。</p>
帝国書院	<p>ア 二次元コードを掲載しており、各都道府県のテーマごとの地図や日本や世界の統計地図を閲覧したり、地図の使い方について説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。</p> <p>イ 全般にわたり、キャラクターの吹き出しなどで、図の活用や各地の様子などを紹介している。「広島市の原爆による被害状況」など、地域の特徴的な内容を紹介している。「持続可能な開発目標（SDGs）」でSDGsの17の目標の背景にある課題を説明するイラストを掲載し、各地の特徴的な生活や取組について写真で紹介している。</p> <p>ウ 日本の各地方を広く見渡す地図に始まり、日本とそのまわりを見渡す地図、日本の各地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引の順で配列している。各地域を比較できるように、日本の地図において、各地方を広く見渡す地図は160万分の1、各地方図は100万分の1（北海道は160万分の1）と50万分の1、都市図は5万分の1で示されている。世界の地図においては、各州の全体図が4000万分の1で示されている。</p> <p>エ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字情報を読み取りやすくするため文字を縁取りしている。色覚特性のある児童も判別しやすくするため、「田」、「畑」、「建物が密集しているところ」、「果樹園」、「山地や丘陵地」、「牧草地」の凡例には色の下に地紋を入れている。</p> <p>オ キャラクターの吹き出しで、具体的な観察の視点を示している。「トライ!」、「地図マスターへの道」のコーナーで、地図を活用する問いを掲載している。</p>

(6) 算数

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい算数
4	大 日 本	新版 たのしい算数
1 1	学 図	みんなと学ぶ 小学校 算数
1 7	教 出	小学算数
6 1	啓 林 館	わくわく 算数
1 1 6	日 文	小学算数

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標を達成するための工夫	単元の流れと主な問題、問題場面やまとめ、練習の示し方
		② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫	スパイラルに取り扱われている内容と練習問題数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入、日常生活や社会とのつながり、単元の終末
		④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	単元の問題解決の過程
		⑤ 具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫	具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	ページ数、単元数、単元内の構成、単元内の配列と分量
		⑦ 中学校の学習内容と関連する内容	発展的な学習の事例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ イラスト・写真・吹き出し等の活用	キャラクター等の活用、視覚資料の扱い、図・表等の扱い、デジタルコンテンツの扱い
(オ)	言語活動の充実	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫	学習の流れと説明したり話し合ったりする活動の具体例
		⑩ 思考を深めるための記述の工夫	ノート指導の扱いと記載例、ページ数

【 算 数 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 第4学年「分数」では、単元の流れを「分数の表し方」「分母がちがう分数の大きさ」「分数のたし算とひき算」の3つのまとまりで構成している。既習内容を確認する活動を1ページ分設けている。また、テープ図や数直線、水のかさなどで分数の表し方を考える活動を設けている。</p> <p>イ 第2～5学年上巻、第6学年の巻頭に「学びのとびら」として、「問題をつかもう」「自分の考えをかき表そう」「友だちと学ぼう」「ふり返ってまとめよう」と、問題解決の過程を4つ示している。</p> <p>ウ 第6学年「はってん数学中1」などでは、中学校の学習内容を位置付けている。</p> <p>エ 双葉のキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして、問題解決の見通しや方法を示している。第6学年「データの調べ方」では、データから、ドットプロットを作成し、3つのデータを比較したり、棒グラフ、折れ線グラフから分かることを読み取る活動を設けたりしている。また、動画、シミュレーション、演習などのデジタルコンテンツがあり、二次元コードからアクセスできる。対応する箇所には、Dマークを全学年で1470個示している。</p> <p>オ 第4学年「面積のくらべ方と表し方」では、方眼上にあるL字型の面積を求める課題を提示している。自分の考えを図や式を使ってかいたり、自分の考えと友達の考えの似ているところや違うところ、友達の考えを説明したりするなどの活動を設けている。</p>
大日本図書	<p>ア 第4学年「分数」では、単元の流れを「分数の表し方」「分数の計算」「分数の大きさ」の3つのまとまりで構成している。既習内容を確認する活動を1ページ分設けている。また、テープ図や水のかさ、数直線などで分数の表し方を考える活動を設けている。</p> <p>イ 第2～6学年の巻頭に「算数の学び方」として、「問題をつかもう」「自分で考えよう」「学び合おう」「まとめよう 使ってみよう」「ふりかえろう（第2学年を除く）」と、問題解決の過程を5つ示している。</p> <p>ウ 第5・6学年「発展中学1年」のマークや6学年巻末「数学の世界へ」などでは、中学校の学習内容を位置付けている。</p> <p>エ うさぎのキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして、問題解決の見通しや方法を示している。第6学年「データの活用」では、データからドットプロットを作成し、2つのデータを比較したり、棒グラフや折れ線グラフを読み取ってデータの特徴を調べたりしている。また、練習問題、シミュレーション、アニメーションなどのデジタルコンテンツがあり、二次元コードからアクセスできる。対応する箇所にはタブレットマークがあり、全学年で1448個示している。</p> <p>オ 第4学年「面積」では、辺の長さが示されているL字型の面積を求める課題を提示している。その面積を求める過程で、自分の考えをかいて発表したり、友達の考えを説明したり、良いところや似ているところについて話し合ったりするなどの活動を設けている。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校図書</p>	<p>ア 第4学年「分数」では、「1より大きい分数」「分数の大きさ」「分数のたし算とひき算」の3つのまとまりで構成している。第3学年で作成した分数ものさしや水のかさ、テープ図などで分数の表し方を考える活動を設けている。</p> <p>イ 第2～5学年上巻、第6学年の巻頭に「算数の学び方」として、「学びのはじめ」「今日の学び」「学びのまとめとふりかえり」と、問題解決の過程を3つ示している。</p> <p>ウ 第5・6学年「発展中学校」のマークや、第6学年の別冊「中学校へのかけ橋」では、中学校の学習内容を位置付けている。</p> <p>エ 卵やモンスターのキャラクター、児童の吹き出しなどを手がかりにして、問題解決の見通しや考え方を示している。第6学年「資料の整理」では、データからドットプロットを作成し、2つのデータを比較したり、棒グラフや帯グラフ、円グラフなどのグラフの特徴を調べたりしている。また、動画、シミュレーション、復習、資料、練習問題などのデジタルコンテンツがあり、二次元コードからアクセスできる。全学年で610個示している。</p> <p>オ 第4学年「面積」では、方眼上にあるL字型の面積を求める課題を提示している。その面積を求める過程で、友達の考えを説明したり、いつでも使える考えはどれかを話し合ったりするなどの活動を設けている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育出版</p>	<p>ア 第4学年「分数の大きさ」とし算、ひき算では、「1より大きい分数」「大きさの等しい分数」「分数のたし算とひき算」の3つのまとまりで構成している。道のりや水のかさなどで分数の表し方を考える活動を設けている。</p> <p>イ 第2～4学年上巻、第5・6学年の巻頭に「みんなで算数をはじめよう！」として、「問題をつかむ・自分の考えをもつ」「話し合って深める」「振り返ってまとめる・比べてつなげる」「広げて考える」と、問題解決の過程を4つ示し、それらを「はてな」「なるほど」「だったら」の3つに分類して示している。</p> <p>ウ 第5・6学年「はってん中学1年」などでは、中学校の学習内容を位置付けている。</p> <p>エ どんぐりのキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして、問題解決の見通しや方法を示している。第6学年「データの見方」では、データからドットプロットを作成し、2つのデータを比較したり、棒グラフを比較し、読み取れることについて話し合う活動を設けている。また、まとめアニメーション、フラッシュカード、シミュレーション、表計算ソフト、プログラミング教材などのデジタルコンテンツがあり、二次元コードからアクセスできる。全学年で591個示している。</p> <p>オ 第4学年「面積」では、方眼上にあるL字型の面積を求める課題を提示している。その面積を求める過程で、友達の考えを図や式で説明したり、自分の考えと友達の考えの似ているところや違うところはどこかを話し合ったりするなどの活動を設けている。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">新興出版社啓林館</p>	<p>ア 第4学年「分数」では、「1より大きい分数の表し方」「分数のたし算・ひき算」「等しい分数」の3つのまとまりで構成している。分数の長さを表したテープ図や数直線などで分数の表し方を考える活動を設けている。</p> <p>イ 第2～4学年上巻，第5・6学年の巻頭に「算数の学習の進め方」として、「どんな問題かな」「自分で考えよう」「みんなで話しあおう」「たしかめよう ふりかえろう」と、問題解決の過程を4つ示している。</p> <p>ウ 第5・6学年「はってん中学校1年」などでは，中学校の学習内容を位置付けている。</p> <p>エ えんぴつのキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして，問題解決の見通しや方法を示している。第6学年「データの整理と活用」では，データからドットプロットを作成し，3つのデータを比較したり，ヒストグラム，折れ線グラフ，帯グラフからわかることについて考える活動を設けている。また，動かす，動画，解説動画，問題，スライドなどのデジタルコンテンツがあり，二次元コードからアクセスできる。対応するページには二次元コードがあり，全学年で1614個示している。</p> <p>オ 第4学年「面積」では，辺の長さが示されていないL字型の面積を求める課題を提示している。面積を求めるのに必要な辺の長さを測る，友達の考えを説明するなどの活動を設けている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">日本文教出版</p>	<p>ア 第4学年「分数」では、「いろいろな分数」「分数の大きさ」「分数のたし算とひき算」の3つのまとまりで構成している。既習内容を確認する活動を2ページ分設けている。数直線やテープ図，面積図などで分数の表し方を考える活動を設けている。</p> <p>イ 第2～4学年上巻，第5・6学年の巻頭「さあ，算数の学習を始めよう！」として，「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「ふり返ろう」と，問題解決の過程を4つ示している。</p> <p>ウ 第5・6学年「はってん中学1年」，第6学年巻末「もうすぐ中学生」などでは，中学校の学習内容を位置付けている。</p> <p>エ りすのキャラクターや児童の吹き出しなどを手がかりにして，問題解決の見通しや方法を示している。第6学年「データの調べ方」では，データからドットプロットを作成し，2つのデータを比較したり，2つの棒グラフの違いについて話し合う活動を設けている。また，動画，アニメーション，シミュレーション，問題，ヒントなどのデジタルコンテンツがあり，二次元コードからアクセスできる。全学年で838個示している。</p> <p>オ 第4学年「面積」では，方眼上にあるL字型の面積を求める課題を提示している。自分の考えを書いたり，友達の考えを説明したり，自分の考えと友達の考えをくらべて，いつでも使える考えはどれかを話し合ったりするなどの活動を設けている。</p>

(7) 理科

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい理科
4	大 日 本	新版 たのしい理科
1 1	学 図	みんなと学ぶ 小学校 理科
1 7	教 出	未来をひらく 小学理科
2 6	信 教	楽しい理科
6 1	啓 林 館	わくわく理科

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標とまとめの示し方	単元のねらいの示し方、単元末のまとめの扱い
		②	知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い、補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数
		③	観察・実験の技能を習得させるための工夫	問題解決のための観察・実験の数、観察・実験の準備と手順の扱い、観察・実験における安全確保の工夫、実験用ガスコンロの操作の扱い
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	興味・関心をもたせるための問題の数、単元の導入の工夫
		⑤	問題解決の力を育成するための工夫	学習の進め方の示し方、問題解決の過程の示し方、問題発見の工夫、問題解決の力の育成の扱い
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	単元や資料等の配列	判型、ページ数、単元数、単元以外の具体的内容
		⑦	社会の変化に伴う課題への対応	防災・減災に関する内容の扱い、プログラミングの体験に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫	巻頭・巻末等の資料の扱い、イラスト・写真・図表等の示し方の工夫、キャラクターやマーク等の活用
(オ)	言語活動の充実	⑨	観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	考察文の記述例、考察文の要素
		⑩	科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫	話合いや説明の活動を促す工夫、話合いの具体例

【 理 科 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 各学年で、問題をつかむための活動「レッツトライ！」に、「～考えよう。」や「～してみよう。」などの呼びかけの形で、学習のめあてや視点を示している。単元末には、「ふりかえろう」を設け、学習内容をまとめている。また、学習内容の定着を図るための「たしかめよう」を設けるとともに、最後には、「学んだ後に〇〇について、知っていることをかこう。」と呼び掛けている。</p> <p>イ 巻頭に、問題解決の流れとして、「理科の学び方」を設け、1本の矢印で工夫して示している。」各単元では、活動の写真や課題発見までの対話の具体例を示している。</p> <p>ウ 第4～6学年で、「理科の世界 探検部」を中心に、防災・減災に関する内容を掲載している。第6学年「電気と私たちの暮らし」では、プログラミングの体験に関する内容を掲載している。</p> <p>エ 全学年で同じキャラクターが登場し、青枠内に「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを示している。また、巻末に学習内容を整理した資料を掲載している。</p> <p>オ 巻末に、「発表のしかた」「話し合いのしかた」として、発表や話し合いの際の留意点を示している。また、「のぼそう！理科の力」では、理科の見方・考え方や、デジタルコンテンツを示し考えやすいように工夫している。また、単元によっては、児童の対話的活動も示している。</p>
大日本図書	<p>ア 観察・実験については、番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。準備物の記載はなく、二次元コードで示している。巻末に、器具の使い方を掲載している。観察・実験の数は99である。</p> <p>イ 各学年で、単元導入時に、写真やイラストを示し、疑問を提示している。児童が伝え合ったり、話し合ったりしているイラストや写真がある。</p> <p>ウ 第4～6学年で、「りかのたまてばこ」などの中で、防災・減災に関する内容を掲載している。第6学年「私たちの生活と電気」では、プログラミングの体験に関する内容を掲載している。</p> <p>エ 各学年で設定されたキャラクターが、問題を見付ける際や考察する際の視点等を示している。また、子どもの吹き出しで、考えるヒントとなる問いや気付き等を示している。各単元で、「問題」「予想」「計画」「結果」等を表すマークを設定している。</p> <p>オ 巻末に、「話し合いや発表のしかた」として、二次元コードで話し合いの際の留意点を示している。「問題」「予想」「計画」「考察」の場面で対話的活動を示している。</p>

<p style="text-align: center;">学校 図書</p>	<p>ア 各学年で、理科の学びがくらしや仕事につながっている様子を示す「もっと知りたい」を掲載している。また、「やってみよう」では、日常生活の現象を取り上げ、説明などをさせている。ものづくりの数は、31 事例である。</p> <p>イ 巻頭に、問題解決の流れとして、「科学の芽を育てよう」を設け、各単元では、「できるようにになりたい」で、つきたい力を示すとともに、「問題を見つけよう」では、活動や話し合いの視点を示している。</p> <p>ウ 各学年で、「資料」などの中で、防災・減災に関する内容を防災マークで記し、掲載している。第6 学年「電気の利用」では、プログラミングの体験に関する内容を掲載している。</p> <p>エ 理科で育成したい「資質・能力」をキャラクターとして掲載し、各単元で3つ示している。また、子どものイラストと吹き出しで、考えを促したり、考える視点を示したりしている。</p> <p>オ 巻末に、「伝える・聞く」として、説明の際の留意点を示している。問題解決のそれぞれの場面で、子ども同士が考えを伝え合う具体例を示している。</p>
<p style="text-align: center;">教育 出版</p>	<p>ア 各学年で、単元の導入に、イラストの吹き出しによる「～かな？」など問いかけの形で、問題を提示している。単元末では、「ふり返ろう」を設け、学習内容をまとめ、「新しく学習した言葉」を示している。また、学習の定着を図るための「確かめよう」を設けている。</p> <p>イ 巻頭に、問題解決の流れとして、「学習の進め方」を設け、各単元では、「予想しよう」の活動において、学んだことや経験などと結びつけて考えた予想等の例を子どもの対話で示している。</p> <p>ウ 第4～6 学年で、防災・減災に関する内容を読み物や小単元の中で扱っている。第6 学年「電気の利用」では、プログラミングの体験に関する内容を掲載している。</p> <p>エ 問題解決の過程をマークで設定し、矢印でつなぐことで学習の流れを示している。各単元の中で、理科の見方のカギ、考え方のカギを子どもの吹き出しで示している。また、単元末に子どものイラストで、学習前と学習後で考えがどのように変わったのかを説明している。</p> <p>オ 各学年で、「結果から考えよう」として、対話する子どもの吹き出しがあり、考察する視点を示している。</p>
<p style="text-align: center;">新興 出版社 啓林館</p>	<p>ア 各学年で、単元の導入に、「調べてみましょう。」などの呼びかけや「～でしょうか。」などの問いかけの形で問題を提示している。また、「思い出そう」で、既習事項や生活の中での事象を想起させている。単元末の「ふり返ろう まとめノート」では、まとめの例を示し、「新しく学習した言葉」も示している。「たしかめよう」「活用しよう」「もう一度考えよう」を設けている。</p> <p>イ 各学年で、単元導入時に写真を用いて事象を提示し、「思い出そう」では、ほとんどの単元で二次元コードを示し、既習事項や日常経験を想起する場面を設定している。</p> <p>ウ 第4～6 学年で、防災・減災に関する内容を「with the Earth」「くらしとリンク」で掲載している。第6 学年「発電と電気の利用」では、プログラミングの体験に関する内容を掲載している。</p> <p>エ 子どものイラストと吹き出しで、考える視点を与える疑問や気づき、考え等を示している。また、各単元で、「問題」「まとめ」等を表すマークを設定したり、「理科の見方・考え方」のポイントとなる言葉に、緑色のマーカーを引き、示したりしている。</p> <p>オ 巻末に、「伝える」として、話すとき、聞くとき、発表するときなどの留意点を示している。問題解決のそれぞれの場面で、吹き出しで児童の対話的活動を示している。</p>

(8) 生活

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
4	大 日 本	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ
1 1	学 図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
1 7	教 出	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ
2 6	信 教	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
3 8	光 村	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき
6 1	啓 林 館	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫	飼育単元の学習活動の流れ、住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物
		②	自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫	地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真、四季の変化を対比させたページ
		③	自分自身や自分の生活について考えるための工夫	学習活動の例、相互評価・他者評価の示し方の例
		④	生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫	生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫	単元の導入ページの内容
		⑥	振り返り表現する活動の工夫	栽培単元におけるワークシートの例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列及び分量	単元名・資料等の配列及び総ページ数、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容
(エ)	内容の表現・表記	⑧	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	キャラクター・マークの工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨	コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定	多様な表現方法で伝え合う活動の例

【 生 活 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 社会との関わりについて、農家、交番、消防署、和菓子屋などで働く人と児童が関わる様子を写真で示している。自然との関わりについて、同じ場所のイラストを使い、上巻では校庭、公園の季節の変化を、下巻では季節の祭りやくらしを示している。</p> <p>イ 下巻「うごく うごく わたしのおもちゃ」では、児童4名が教室でゴムを利用して飛ぶおもちゃで遊ぶ写真、児童3名がグラウンドで風を利用して回るおもちゃで遊ぶ写真、輪ゴムと乾電池を利用して進むおもちゃの仕組みを考える写真、「どうしてうごくのかな」という吹き出しを示している。</p> <p>ウ 上巻は130ページで、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例など、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を13ページ分示している。下巻は122ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を11ページ分示している。</p> <p>エ 6名の児童とキャラクターが、思考や活動を促している。「!」「?」「♡」マークで、主な評価規準(「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」)を示している。「つながる○○(教科名)」マークで、他教科等との関連を示している。</p> <p>オ 下巻「つながる広がるわたしの生活」では、インタビュー、電話、ビデオ通話などで、知りたいことを調べている。また、調べたことを新聞やパンフレットにまとめたり、地域の人を招待し、電子黒板を使って発表したりする活動を示している。</p>
大日本図書	<p>ア 社会との関わりについて、飲食店、郵便局、交番、図書館、消防署、和菓子屋、醤油屋などで働く人と児童がかかわる様子を写真で示している。自然との関わりについて、上下巻を通して同じ場所のイラストを使い、校庭の季節の変化を示している。</p> <p>イ 下巻「楽しさ ひろがれ わたしのおもちゃ」では、児童4名が廊下で風を利用して動くおもちゃで遊ぶ写真、「楽しそうな おもちゃだね」という吹き出し、二次元コード(動画)を記載している。</p> <p>ウ 上巻は「なかよし」、下巻は「はっけん」という共通の単元名を設定し、季節の流れに沿った大単元で構成している。上巻は140ページで、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を6ページ分示している。下巻は128ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を22ページ分示している。</p> <p>エ 5名の児童と先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を促している。「せいかつことば」マークで、語彙力の向上や言語能力の育成を図る言葉を、「きらきらことば」マークで、友だちとのスムーズな交流を支える言葉を示している。「がくしゅうどうぐばこ」マークで関連資料のページを示し、「きもちマーク」が振り返り、「SDGs」マークは身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</p> <p>オ 下巻「わたしの町はっけん」では、見つけたことなどをタブレットや電子黒板で報告したり、紙芝居、地図などを使って発表したりする活動を示している。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校図書</p>	<p>ア 社会との関わりについて、和菓子屋、パン屋、消防署、花屋などで働く人と児童が関わる様子を写真で示している。自然との関わりについて、下巻で同じ場所のイラストを使い、公園や町の四季の変化を対比させ、季節ごとの祭りを紹介している。</p> <p>イ 下巻「作って あそぼう うごく リサイクル おもちゃ」では、児童1名がおもちゃの材料の入った箱を抱え、箱から飛び出したように描写された3つのおもちゃの写真、児童1名が空気を利用して飛ぶおもちゃで遊ぶ写真、「むずかしそうだな。うまく作れるかな。」という吹き出しを記載している。</p> <p>ウ 上下巻ともに、内容を「探検」「遊び」「飼育」「栽培」「家族・成長」の5つの領域で構成し、目次には、学習時期を示す図を掲載している。上巻は140ページで、学校生活や友達とのかかわりなどを10ページ分示している。下巻は132ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を15ページ分示している。</p> <p>エ 4名の児童と先生が繰り返し登場し、キャラクターが気づきや疑問をつぶやいている。「学び方図かん」マークは生活科の基本的な学習方法が分かる資料ページを、「ものしりノート」マークは関連する資料ページを参照するよう示している。</p> <p>オ 下巻「まちの人の話を聞こう」では、パン屋、農家、消防署などでのインタビューの様子と会話例を示している。「しらべたことをつたえよう」では、地域の方を招待して新聞や地図、電子黒板を使って発表する活動を示している。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育出版</p>	<p>ア 社会との関わりについて、和菓子屋、靴屋、消防署などで働く人と児童が関わる様子を写真で示している。自然との関わりについて、下巻で同じ場所のイラストを使い、町の四季の変化を対比して示している。</p> <p>イ 下巻「作ってためして」では、児童6名がそれぞれ異なったおもちゃを持つ写真、児童2名がおもちゃに対する気持ちを話す写真、先生1名が問いかける写真、小さい時の経験を話す児童の言葉、活動への興味・関心を高めるフローチャート、二次元コード（ワークシート）を記載している。</p> <p>ウ 上巻は130ページで、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例をイラストでページの下段に示し、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を7ページ分示している。下巻は130ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を13ページ分示している。</p> <p>エ 2名の児童と2名の先生が繰り返し登場し、キャラクターが「はっけんロード」の途中で発見したことや感じたことをつぶやいたり、「ぐんぐんはしご」コーナーで学習活動の自己評価を促したり、問いを投げかけたりしている。「サイコロ」マークは学習活動で引き出す力、「学びのポケット」マークは巻末資料の参照を示し、二次元コードごとにマーク（「どうが」「ワークシート」「デジタルずかん」）を付けている。</p> <p>オ 下巻「えがおのひみつたんけんたい」では、電子黒板や実物投影機を活用した友達への報告、地域の方を招待してクイズなどを取り入れた発表、ポスターや感謝状を活用した伝え合い活動を示している。</p>

光村図書出版	<p>ア 社会との関わりについて、パン屋、交番、図書館、駅などで働く人と児童が関わる様子を写真で示している。自然との関わりについて、上巻では、木の四季の変化を写真で示し、下巻では、同じ場所のイラストを使い、町の四季の変化を示している。</p> <p>イ 下巻「あそんで 作って くふうして」では、児童4名がおもちゃの材料を見ながら考える写真、ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、乾電池等の材料の写真、「あ！すごくいいことおもいついた！」という児童の発言を記載している。</p> <p>ウ 上巻は137ページで、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を14ページ分示している。下巻は127ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を12ページ分示している。</p> <p>エ 資質・能力について振り返るための視点を同じ児童の問いかけやマークで示している。学習内容と関連する「ひろがる せいかつ じてん」のページ、動画(二次元コード)の種類(健康・道具・安全・近付かない)をマークで示している。「もっと やってみよう」マークは、学習を広げるための資料、「SDGs」マークは、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。</p> <p>オ 下巻「もっともっとまちたんけん」では、パン屋や和菓子屋などでのインタビュー、町探検で見つけたことについて電子黒板や地図を活用した交流、かべ新聞、ポスター、パンフレットにまとめる活動を示している。</p>
新興出版社啓林館	<p>ア 社会との関わりについて、和菓子屋、花屋、交番、図書館などで働く人と児童が関わる様子を写真で示している。自然との関わりについて、同じ場所のイラストを使い、上巻では校庭の四季の変化を、下巻では季節ごとの行事や祭りを示している。</p> <p>イ 下巻「せかいで ひとつ わたしのおもちゃ」では、児童3名が「ざいりょう たからばこ」から材料を選ぶ写真、「こども園でおもちゃを作ったよ。」「1年生のときはどんぐりごまを作ったね。」という吹き出し、二次元コード(動画、スライド)を記載している。</p> <p>ウ 上下巻ともに、「わくわく」(単元の導入)「いきいき」(主な活動)「ぐんぐん」(振り返り)の3段階で構成され、単元の流れを示している。上巻は148ページで、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を17ページ分示している。下巻は138ページで、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を7ページ分示している。</p> <p>エ 5名の児童と2名の先生が繰り返し登場し、キャラクターが気付きや疑問、学び方のヒントをつぶやいて示している。マークで、他教科との関連、考えるための学習活動の例(見付ける・比べる・例える・試す等)を示している。「がくしゅうざかん」マークは、学習図鑑の参照ページを示している。</p> <p>オ 下巻「町の人に聞いてみよう」では、和菓子のお店や見守り隊の方へのインタビューの様子を示している。「町のすてきをつたえよう」では、地域の幼児や高齢者などにタブレットや実演を交えて発表する様子を示している。</p>

(9) 音楽

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	小学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材や学習目標等の示し方	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
		② 歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	歌唱教材の扱いの具体例
		③ 器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	リコーダーの学習の具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例
		⑤ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活との関わりについての記述
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
		⑦ 題材や資料等の配列	表現領域における系統的な扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧ [共通事項]の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

【 音 楽 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
教育出版	<p>ア 題材名は、見開き左上に縦書きで、「せんりつと音色」などと示している。学習目標は、見開き左上に横書きで示し、「せんりつ」「へん化」「バイオリン」などの文言には色が付いている。学習目標達成の支援として、「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、旋律の流れや、手や体の動きの例をイラストで示している。</p> <p>イ 音楽づくりでは、第1学年「はくとリズム」の学習目標「たんとたたのリズムであそぼう」において、リズムを「たん＝円」「たた＝半円」「うん＝ひし形」と示すとともに、5つのリズムの例を示している。二次元コードを読み取ると、「たん」「たた」「うん」を入力してリズムをつくるワークシートが活用できる。</p> <p>ウ 歌唱では、第2学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱、第5学年から三部合唱を導入している。器楽では、合奏曲を第2学年から配置している。</p> <p>エ 音楽を形づくっている要素については、見開き右上に「音楽のもと」として「せんりつ」「速度」などを示し、第3～6学年にはメモ欄を設けている。全学年巻末の資料『音楽のもと』まとめに、音楽を形づくっている要素を示している。</p> <p>オ 第6学年「アンサンブルのみりよく」では、学習目標を「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう」としている。言語活動として、表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面、音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面を設定している。</p>
教育芸術社	<p>ア 題材名は見開き左側に縦書きで、「せんりつのとくちょうをかんじとろう」などと示している。学習目標は、見開き左上に「せんりつの音の上がり下がりにつけてきましましょう」などと示している。学習目標達成のための支援として、「見つける」「考える」のマークを付け、旋律の流れをイラストで示している。</p> <p>イ 音楽づくりでは、第1学年「はくについてリズムをうとう」の学習目標「たんとたたをつかってことばでリズムをつくりましょう。」において、リズムを「たん＝円(黒)」「たた＝半円」「うん＝円(白)」と示すとともに、言葉と併せて5つのリズムの例を示している。二次元コードを読み取ると、リズムのもとになる絵を選択してリズムをつくるデジタルコンテンツが活用できる。</p> <p>ウ 歌唱では、第3学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱、第5学年から三部合唱を導入している。器楽では、合奏曲を第1学年から配置している。</p> <p>エ 音楽を形づくっている要素については、見開き右下に「音色」「せんりつ」などを示している。全学年巻末の「ふり返りのページ」に、音楽を形づくっている要素を関連するページ番号とともに示している。</p> <p>オ 第6学年「詩と音楽の関わりを味わおう」では、学習目標を「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう」としている。「見つける」「考える」「歌う」のマークを付け、言語活動として、表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面、音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面を設定している。</p>

(10) 図画工作

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開隆堂	図画工作
116	日 文	図画工作

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標・振り返りの示し方	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例
		② [共通事項]を視点とした学びの示し方	[共通事項]を視点とした学びの示し方と具体例
		③ 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	材料や用具の取扱い等の示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	導入の示し方と具体例
		⑤ 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の示し方と具体例
		⑥ 身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い	鑑賞の対象と示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材や資料等の配列	題材数、構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 作品等についての示し方の工夫	作品や造形活動の示し方と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例

【 図画工作 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
開隆堂出版	<p>ア 題材ごとに、「学習のめあて」を3種類のキャラクターが示している。特に重点的に育てたい資質・能力には、下線を引き、色を変えて示し、児童が自己評価する際の参考になる「ふりかえり」を示している。また、各題材と巻末には振り返りの視点を示した二次元コードがある。</p> <p>イ 第1・2学年（下）では、「小さなびじゅつかん」という鑑賞の特設ページで、作品の見方や考え方を深め、「しぜんからのおくりもの【造形遊び】」の表現に生かす等、鑑賞と表現を関連付けた学習活動を設定できるように工夫されている。</p> <p>ウ 題材を5項目に分類して配列している。掲載している作品等にサイズを明記している。題材数は、第1・2学年で46、第3・4学年で44、第5・6学年で39である。鑑賞の項目における題材数は、全学年1である。</p> <p>エ 作品（図版番号あり）や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>オ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話を示している。</p>
日本文教出版	<p>ア 題材ごとに、資質・能力の3つの柱に基づいた目標を3種類のマークで示している。学びに向かう力、人間性等の涵養へとつなげるために、活動を通して、どのような気付きや学びがあったのか、学習を振り返るための視点を示している。</p> <p>イ 第1・2学年（下）では、「であって 生まれる いろのせかい」という鑑賞の特設ページで、作品の見方や考え方を深め、「ふしぎなたまご【絵】」等の表現に生かす等、鑑賞と表現を関連付けた学習活動を設定できるように工夫されている。</p> <p>ウ 題材を5項目に分類して配列している。掲載している作品等にサイズを明記している。題材数は、第1・2学年で47、第3・4学年で42、第5・6学年で39である。鑑賞の項目における題材数は、第1学年から第4学年までは3、第5・6学年は2である。</p> <p>エ 作品や造形活動について、発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり、題名や作者の考え・感想を示したりしている。</p> <p>オ 共同して製作する題材や、発想や構想、鑑賞の場面で児童が関わり合う活動を取り扱っており、言語活動を促す文、児童の活動の様子が分かる写真や対話例を示している。さらに、第3学年以上は「ともだちのさくひんをみてはなそう」の特設ページを設け、作品を見て感じたことや、友達と話し合う活動を示すことで言語活動の充実に促している。</p>

(11) 英語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON Elementary English Course
9	開 隆 堂	Junior Sunshine
15	三 省 堂	CROWN Jr.
17	教 出	ONE WORLD Smiles
38	光 村	Here We Go!
61	啓 林 館	Blue Sky elementary

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	目標の示し方と具体例
		② 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫	文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入の工夫
		④ 単元等における振り返りの工夫	単元など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元の構成・配列の工夫	総ページ数、総単元数、総言語活動数、領域別言語活動数
		⑥ 単元における言語活動の構成・配列	単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用	キャラクターやマーク、写真やデジタル教材等の活用
		⑧ 巻末資料、付録等の工夫	巻末資料、付録等の内容
(オ)	言語活動の充実	⑨ 児童にとって身近な暮らしに関わる場面設定の工夫	主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元
		⑩ 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫	自分の考えや気持ちなどを伝え合う等の言語活動の設定及び具体例

【 英 語 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 助動詞 can の文及び文構造に繰り返し触れる機会を、第5学年で5単元、第6学年で4単元設定している。</p> <p>イ 第6学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では、見開きページを活用して、4か国について、特徴的な場所や文化などの写真を掲載するとともに、それぞれの国で「何ができるか」「何をしたいか」の紹介を聞く活動のほか、読む・書く活動、歌、チャンツを設定するとともに、国の魅力を調べたり紹介し合ったりする場面を設定し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>ウ 第6学年では、8つの単元を設定し、4技能5領域の活動を示すマーク数は、聞くこと70、読むこと42、話すこと[やり取り]51、話すこと[発表]8、書くこと48である。</p> <p>エ 別冊資料として、「My Picture Dictionary」を付属している。</p> <p>オ 第6学年 Unit 7「My Best Memory」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、「Let's Try」で一番思い出に残った行事と感想を尋ね合う活動、「Enjoy Communication」で小学校の思い出のカードを作り、ペアで紹介し合う活動を設定している。</p>
開隆堂出版	<p>ア 助動詞 can の文及び文構造にくり返し触れる機会を、第5学年で5単元、第6学年で7単元設定している。</p> <p>イ 第6学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では、見開きページを活用して、8か国について、地図上に国旗、特徴的な建物や動物、食べ物などの写真を掲載するとともに、先生や友達と「行きたい国とその理由」について尋ね合う聞く活動や、チャンツ、ゲーム、クイズを設定し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>ウ 第6学年では、8つの単元を設定し、4技能5領域の活動を示すマーク数は、聞くこと52、読むこと24、話すこと[やり取り]72、話すこと[発表]7、書くこと24である。</p> <p>エ 別冊資料として、各学年に「Word Book」を付属している。</p> <p>オ 第6学年 Lesson 6「My Best Memory」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、「Activity 1」で、小学校生活一番の思い出について話す活動、「Activity 2」で、小学校生活の一番の思い出とその理由を伝え合う活動、「Activity 3」で、小学校生活の一番の思い出についてスピーチする活動を設定している。</p>

三省堂	<p>ア 助動詞 can の文及び文構造に繰り返し触れる機会を、第5学年で4単元、第6学年で4単元設定している。</p> <p>イ 第5学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では、見開きページを活用して、世界地図のイラスト上の20か国について、国名、特徴的な建物や動物、食べ物などのイラストや写真を掲載するとともに、それぞれの国の特徴を聞く活動を設定し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>ウ 第6学年では、7つの単元を設定し、4技能5領域の活動を示すマーク数は、聞くこと32、読むこと25、話すこと[やり取り]44、話すこと[発表]21、書くこと21である。</p> <p>エ 別冊資料として、「My Dictionary」を付属している。</p> <p>オ 第6学年 Jump 2「My best memory is…」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、「さあ、本番！」で、発表メモをもとに、クラスの友達に小学校の一番の思い出を伝える活動を設定している。</p>
教育出版	<p>ア 助動詞 can の文及び文構造に繰り返し触れる機会を、第5学年で3単元、第6学年で5単元設定している。</p> <p>イ 第6学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では、世界地図上の7つの国について、特徴的な場所や動物の写真、世界の「名所・名物マップ」を掲載するとともに、国の魅力について聞く活動を設定し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>ウ 第6学年では、8つの単元を設定し、4技能5領域の活動を示すマーク数は、聞くこと19、読むこと16、話すこと[やり取り]14、話すこと[発表]7、書くこと16である。</p> <p>エ 巻末に、「My Word Bank」が掲載されている。</p> <p>オ 第6学年 Lesson 6「My Best Memory」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、「Think 1」で一番思い出に残っている学校行事について伝え合う活動、「Activity」で一番思い出に残っている学校行事について尋ね合う活動、「Final Activity」でクラスの「思い出アルバム」を作成する活動を設定している。</p>
光村図書出版	<p>ア 助動詞 can の文及び文構造に繰り返し触れる機会を、第5学年で4単元、第6学年で4単元設定している。</p> <p>イ 第6学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では、見開きページを活用して、黒板に貼られた世界地図の上を示す設定で日本を含む10か国について、国名、国旗、特徴的な建物や動物、食べ物などの写真を掲載するとともに、登場人物である英語の先生が児童とやり取りしながら、それぞれの国を紹介する様子の映像を見て聞く活動のほか、ゲームを設定し、児童の興味・関心を高めている。</p> <p>ウ 第6学年では、8つの単元を設定し、4技能5領域の活動を示すマーク数は、聞くこと51、読むこと20、話すこと[やり取り]45、話すこと[発表]20、書くこと20である。</p> <p>エ 別冊資料として、各学年「Picture Dictionary」を付属している。</p> <p>オ 第6学年 Unit 8「My Best Memory」では、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として、1つ目の「Let's try.」でいちばん思い出に残った学校行事を友達と伝え合う活動、2つ目の「Let's try.」で思い出に残る行事で、行った場所やしたことなどを友達と伝え合う活動、「Let's speak」で小学校生活の一番の思い出を発表する活動を設定している。</p>

新興出版社啓林館	<p>ア 助動詞 can の文及び文構造に繰り返し触れる機会を，第5学年で2単元，第6学年で3単元設定している。</p> <p>イ 第5学年の「行ってみたい国や地域」に関する単元では，見開きページを活用して，掲載している世界地図から抽出する形で16か国の国旗と世界遺産，特徴的な建物や動物，名産品，スポーツなどの写真を掲載するとともに，登場人物が語る「行きたい国とその理由」について聞く活動を設定し，児童の興味・関心を高めている。</p> <p>ウ 第6学年では，8つの単元を設定し，4技能5領域の活動を示すマーク数は，聞くこと79，読むこと9，話すこと[やり取り]21，話すこと[発表]21，書くこと23である。</p> <p>エ 巻末に「Word List」が記載されている。</p> <p>オ 第6学年 Unit 6「My favorite memory is the school trip.」では，自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動として，1つ目の「Activity」で友達に思い出の学校行事を尋ねてランキング表を作る活動，2つ目の「Activity」で自分の思い出の学校行事とそこでしたことをいくつか伝え合い，1つ書く活動，3つ目の「Activity」で小学校の思い出を発表する活動及び書く活動を設定している。</p>
----------	--

(12) 家庭

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい家庭
9	開 隆 堂	わたしたちの家庭科

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	題材の目標の示し方及び具体例
		② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例
		④ 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述	生活の課題と実践の展開の示し方及び実践例
		⑤ 実生活での活用に関する記述	学習した内容を実生活で活用するための活動例及び活動例数
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 題材名や資料等の配列	題材名及び学習内容の配列と分量
		⑦ 各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連する内容の示し方及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	学習内容と関連した図・イラスト・写真等の示し方及び具体例
		⑨ 個々の児童の状態等に応じた工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑩ 言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	言語活動を取り入れた学習の示し方と題材名及び活動例数

【 家 庭 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
開隆堂	<p>ア 基礎的・基本的な技能の定着を図るため、実習や製作のページには、「できたかな」として、自己評価の囲みを11か所掲載し、小单元ごとに「学習をふり返ろう」を設けている。また、デジタルコンテンツが使用できる部分には「QR」マークがあり、ページ右上の二次元コードから、動画やワークシート、資料を活用することができる。</p> <p>イ 「A 家庭・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容を、「レッツ トライ 生活の課題と実せん」「生活の課題の実せん例」として、5つの例を掲載している。</p> <p>ウ 各教科等の学習内容との関連については、「他教科での学習と関連する内容」として「関連マーク」を26か所示し、教科等名、学年、単元概要を示している。</p> <p>エ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、巻末には、作業する手元を拡大した写真を掲載しており、「切り方と大きさのめやす」は実物大で示している。</p> <p>オ 生活をよりよくするための方法を考えたり、調べたり、やってみたり、話し合ったり、交流したりする活動を「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「話し合おう」などのマークで示している。</p>
東京書籍	<p>ア 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、実習や製作のページには、「できたかな」として、自己評価の囲みを14か所掲載し、ステップごとに「ふり返ろう」を設けている。また、デジタルコンテンツが使用できる部分には「D」マークがあり、ページ右上の二次元コードから、動画やワークシート、資料を活用することができる。</p> <p>イ 「生活を変えるチャンス！」では、「A 家庭・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」と対応したページに、3つの例を掲載し、また、夏休みわくわくチャレンジとして、学習したことを実践している場面を2か所示している。</p> <p>ウ 各教科等や中学校の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習、中学校の学習との関わりを見てみよう。」として、丸を重ねたマークを34か所示し、教科等名、学年、単元概要を示している。</p> <p>エ 本文の書体は、ユニバーサルデザインのフォントを使用し、巻末には、作業する手元を拡大した実物大の写真を掲載している。</p> <p>オ 生活をよりよくするための方法を考えたり、調べたり、やってみたり、話し合ったり、交流したりする活動を「活動」のマークで示している。</p>

(13) 保健

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい保健
4	大 日 本	新版 たのしい保健
50	大 修 館	新 小学校保健
207	文 教 社	新わたしたちの保健
208	光 文	小学保健
224	学 研	新・みんなの保健

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	学習課題の示し方、学習の動機付け
		② 体育・健康に関する内容の記述	学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述
		③ 実習に関する記述	不安や悩みへの対処、けがの手当てに関する実習事例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元ごとの導入方法、まとめや振り返りの工夫
		⑤ 健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫	学習の進め方の示し方、課題解決の過程
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	単元における項目、資料等の配列
		⑦ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の具体例と事例数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用	本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容
(オ)	言語活動の充実	⑨ 身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫	自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数

【 保 健 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 交通事故の防止で自転車に乗るときの基本的なルールと、自動車の特性について、イラストと解説を掲載している。自転車に乗るときのルールでは、「自転車安全利用五則」、自動車の特性では、「自動車の停止きより」と「内輪差」が示されている。また、動画で確認できるよう、二次元コードがついている。</p> <p>イ 各単元の導入で、見通しを持たせるための記述及びイラストを掲載し、学習のイメージとゴール（目標）を図示している。振り返りでは、単元末に「学習を振り返ろう」として、自己評価をする活動や書く活動を設定しており、二次元コードによるワークシートを掲載している。</p> <p>ウ 各小単元末に「資料」として、学習内容と関連した、今日的な健康情報を示している。</p> <p>エ 単元「体の成長とわたし」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを13か所掲載している。自分の体の成長に気付くため、実際の大きさの乳幼児の靴や手形の写真を掲載している。</p> <p>オ 単元「こころの健康」では、自分の考えを書く活動を12か所掲載している。不安や悩みへの対処の方法について、自分の生活をふり返ったり、友達に聞いたことを記入したりする活動を設定している。</p>
大日本図書	<p>ア 交通事故の防止で、安全な自転車の乗り方について、イラストと解説を掲載している。自転車の乗り方について、「ルール」、「注意すること」、「乗車前にチェックすること」が示されている。</p> <p>イ 各単元の導入で、見通しを持たせるための記述及び写真を掲載している。見開きのイラストからキャラクターを探すことで、学習の課題に気付くことができるように「学習ゲーム」のページを設定している。また、振り返りでは、単元末に「まとめ」として、自己評価をする活動や書く活動を設定している。</p> <p>ウ 単元末に「もっと知りたい」として、知識を広げ、深める資料を提示している。</p> <p>エ 単元「体の発育・発達」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを14か所掲載している。思春期の体の変化とホルモン、月経のしくみ、射精のしくみを示すイラストを掲載している。</p> <p>オ 単元「心の健康」では、自分の考えを書く活動を7か所、話し合う活動を3か所掲載している。心のはたらきが小学生になる前と比べて、どのように変化したのかを話し合ったり、心がよりよく発達するためには、どのようなことをしてみたいかについて自分の考えを記入させたりする活動を設定している。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大修館</p>	<p>ア 交通事故の防止で、安全な自転車の乗り方と車の特徴について、イラストと解説を掲載している。自転車の乗り方では、「自転車の交通ルール」、車の特徴では、「内輪差」「死角」「停止きまり」が示されている。</p> <p>イ 各単元の導入で、見通しを持たせるための著名人の写真を掲載し、学習をイメージできるように著名人へのインタビュー形式で示している。振り返りでは、単元末に「学習をふり返ってみよう」として、学習したことを確認する活動や自己評価をする活動、書く活動を設定している。</p> <p>ウ 小単元末に、「もっと学びを広げよう！深めよう！」として、学習内容に関連した資料を掲載している。</p> <p>エ 単元「体の成長」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを13か所掲載している。健康な骨と運動不足やカルシウム不足の骨の様子を示す写真を掲載している。</p> <p>オ 単元「心の健康」では、自分の考えを書く活動を7か所、話し合う活動を1か所掲載している。自分の経験をふり返って、心と体がえいきょうし合っていると思うことについて、学習したことをもとに記入したりする活動を設定している。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">文教社</p>	<p>ア 交通事故の防止で、自転車の安全点検について、写真と解説を掲載している。自転車のセルフチェックの方法が合言葉で示されている。また、ヒヤリ・ハットについて、事例が確認できるよう、二次元コードがついている。</p> <p>イ 各単元の導入で、見通しを持たせるための記述、イラストなどを掲載している。学習内容をイメージさせるように見開きの写真を掲載している。振り返りでは、小単元末に「もう一步先の自分へ」として書く活動を設定している。</p> <p>ウ 各単元末に、「宣言ページ」として、単元で理解したことを、宣言すること及びその理由を書き、友達と伝え合う活動を設定している。</p> <p>エ 単元「体の発育・発達」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを14か所掲載している。年齢に伴う異性との関わり方の変化を示すイラストを掲載している。</p> <p>オ 単元「心の健康」では、自分の考えを書く活動を8か所、話し合う活動を1か所掲載している。不安や悩みについて、相談したことはないか自分の生活をふり返って記入したりする活動を設定している。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">光 文 書 院</p>	<p>ア 交通事故の防止で、自転車の安全な乗り方と車の特徴について、イラストと解説を掲載している。自転車では、自転車に乗るときのルールとマナー、車の特徴では、「死角」「合図」「内輪差」「停止きより」が示されている。また、動画で確認できるよう、二次元コードがついている。</p> <p>イ 各単元の導入で、4～5つの場面のイラストと単元の学習内容を掲載している。イラストは、これから学習する内容をストーリー形式で示している。また、振り返りでは、単元末に「学習のまとめ」として、自己評価をする活動と書く活動を設定している。</p> <p>ウ 小単元末に、「さらに広げよう・深めよう」として、学習内容に関連した資料を掲載している。</p> <p>エ 単元「体の発育と健康」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを16か所掲載している。学校給食の栄養バランスを示す写真を掲載している。</p> <p>オ 単元「心の健康」では、自分の考えを書く活動を7か所、話し合う活動を2か所掲載している。心がどのようなことを通して発達してきたのか、イラストを見て話し合ったり、心がよりよく発達するためにはこれからどのようなことをしてみたいか、自分の考えを記入させたりする活動を設定している。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 研 教 育 み ら い</p>	<p>ア 交通事故の防止で、自動車や自転車の特性について、イラストと解説を掲載している。自動車の特性では、「内輪差」と「死角」、自転車の特性では、安定性が示されている。</p> <p>イ 各単元の導入で、見通しを持たせるための記述及び写真を掲載し、単元の学習の流れを図で示している。振り返りでは、単元末に「振り返る・伝える・つなぐ」として、自己評価をする活動と書く活動を設定している。</p> <p>ウ 各単元に、「もっと！知りたい・調べたい」として、学習を広げたり、深めたりするためのページを設定している。</p> <p>エ 単元「体の発育・発達」では、本文記述と関連付けたイラスト、写真、グラフを14か所掲載している。男女の子どもと大人の体つきの違いを示すイラストを掲載している。</p> <p>オ 単元「心の健康」では、自分の考えを書く活動を18か所、話し合う活動を2か所掲載している。心と体がどのようにつながっているかについて、資料をもとに話し合ったり、話し合っただけ気づいたことを記入したりする活動を設定している。</p>

(14) 特別の教科 道徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい道徳
17	教 出	小学道徳 はばたこう明日へ
38	光 村	道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日 文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
208	光 文	小学道徳 ゆたかな心
224	学 研	新版 みんなの道徳

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		② 発問の示し方	学年、主題名、数、掲載箇所及び発問
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習過程の示し方、教材名・内容項目、学習過程
		④ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 分量や教材の数	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
		⑥ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末等の示し方
		⑧ 教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例

【 特別の教科 道徳 】

- 観点 ア 基礎・基本の定着
 イ 主体的に学習に取り組む工夫
 ウ 内容の構成・配列・分量
 エ 内容の表現・表記
 オ 言語活動の充実

特徴

発行者	特 徴
東京書籍	<p>ア 発問は、第1学年は教材名の下「はじめに」と、全学年で、教材文の終わりの「考えよう」に記載している。第1学年、「しんせつなところで」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「くまのうしろすがたをみおくっていたおおかみは、どんなことをかんがえていますか」など2つの発問を示している。</p> <p>イ 問題解決的な学習を行う教材は、全学年で、「問題を見つけて考えよう」を設け、巻頭に該当ページを示し、教材の終わりに学習過程の例を示している。</p> <p>ウ いじめ問題を扱った教材は、全学年で、目次を色分けし、いじめの問題をテーマにした2つの教材と扉ページの構成でユニット化した「いじめについてかんがえよう」を設けている。第5学年では、主題名「身近にあるいじめ」で、「C-13 公正、公平、社会正義」の内容項目の教材として、「どうすればいいんだ」を選定している。</p> <p>エ 全学年で、巻頭には、目次の前に「詩」を掲載している。巻末には、学習の記録や考えるためのツール、第4学年以上に心情円を掲載している。全学年で資料等のデジタルコンテンツにリンクする「二次元コード」を示している。</p> <p>オ 全学年で、巻末「学習の記録」に、心に残った教材について記述したり、道徳の学習を振り返って考えたことや生活に生かしたいことなどを記録したりする欄を設けている。</p>
教育出版	<p>ア 発問は、全学年で、教材名の下と、教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」などに記載している。第1学年「あたたかいところ」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「しんせつにしたり、しんせつにされたりすると、どんなきもちになるかな」など、6つの発問を示している。</p> <p>イ 問題解決的な学習が展開できるよう、全学年で、「問題を解決しよう」を設け、目次及び該当ページに「かいけつ」マークを付け、教材の終わりに発問の形で示している。</p> <p>ウ いじめ問題を扱った教材は、いじめの問題をテーマにした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくす」を設けている。第5学年では、主題名「あなたならどうする」で、「A-1 善悪の判断、自律、自由と責任」の内容項目の教材として、「SNS いじめ」を選定している。</p> <p>エ 全学年で、巻頭に目次を示しており、教材名とともに、特に大切にテーマのまとまりに色付けしている。巻末には、学習の振り返りや教材に合わせて活用する資料を掲載している。全学年で資料等のWebサイトにリンクする「二次元コード」を示している。</p> <p>オ 全学年で、教材終わりの自己評価欄や巻末「学習をふり返ろう」に、心に残った教材などを記録する欄を設けている。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">光村図書出版</p>	<p>ア 発問は、全学年で、主題名の下と、教材文の終わりの「考えよう・話し合おう」などに記載している。第1学年「しんせつにすると」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「おおかみは、くまのうしろすがたをみおくりながら、どんなことを考えていたでしょう」など、5つの発問を示している。</p> <p>イ 問題解決的な学習が展開できるよう、全学年で、「考えよう・話し合おう」の中に、問題を解決するためにはどうすればよいかを考える問いなどを示し、第2学年以上は、教材の終わりに学習過程の例を示している。</p> <p>ウ いじめ問題を扱った教材は、全学年で、いじめの問題をテーマにした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめを許さない心」を設けている。第5学年では、主題名「理解し合うために」で、「B-11 相互理解, 寛容」の内容項目の教材として、「みんな、おかしいよ!」を選定している。</p> <p>エ 全学年で、巻頭には、目次の前に「詩」を掲載している。巻末は、学習のふり返りができるよう「学びの記録」を示し、第3学年以上には考えるツールとして、学びの道工具箱を示している。全学年で資料等のデジタルコンテンツにリンクする「二次元コード」を示している。</p> <p>オ 全学年で、巻末「学びの記録」に、第4学年まではシールを貼って自己評価する欄、第5学年以上は一言感想と自己評価する欄を設けている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">日本文教出版</p>	<p>ア 発問は、全学年で、主題名の下と教材の終わりの「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」などに記載している。第1学年「しんせつ」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「まえよりずっといい気もちになったおおかみは、どんなことをかंगाえていたのかな」など、3つの発問を示している。</p> <p>イ 問題解決的な学習を行う教材は、全学年で、「ぐっと深める」を設け、目次及び該当ページにマークを付け、イラストや写真などで学習過程の例を発問とともに示している。</p> <p>ウ いじめ問題を扱った教材は、全学年で、いじめの問題をテーマにした複数の教材を配置し、教材とコラムの構成でユニット化した「人との関わり」を設けている。第5学年では、主題名「正義の実現」で、「C-13 公正, 公平, 社会正義」の内容項目の教材として、「名前のない手紙」を選定している。</p> <p>エ 全学年で、巻頭に目次を示しており、学習するまとまりに色付けしている。全学年で、巻末には、「見つけた!ここにも道徳」を掲載している。全学年で資料等にリンクする「二次元コード」を示している。</p> <p>オ 全学年で、別冊「道徳ノート」に学習後の自己評価欄や、心に残った教材について記述する欄を設けている。</p>

<p style="text-align: center;">光 文 書 院</p>	<p>ア 発問は、全学年で、主題名の下と教材文の終わりの「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」に記載している。第1学年「あたたかいところ」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「うさぎにいばったときとやさしくしたときのおおかみのいきもちはなにがちがうのかな」など、5つの発問を示している。</p> <p>イ 問題解決的な学習が展開できるよう、「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設け、巻頭及び該当ページにマークで示し、教材の終わりに発問の形で示している。</p> <p>ウ いじめ問題を扱った教材は、全学年で、いじめの2つの教材と扉ページの構成でユニット化した「いじめを生まない心」を設けている。第5学年では、主題名「いじめにつなげない」で、「C-13 公正、公平、社会正義」の内容項目の教材として、「光輝の告白」を選定している。</p> <p>エ 全学年で、巻頭は目次になっており、教材名とともに、特に大切にすするテーマには、教材のまとまりに色付けしている。巻末は、学習のふり返りや詩を掲載している。全学年で資料等のWebサイトにリンクする「二次元コード」を示している。</p> <p>オ 全学年で、巻末「学びの足あと」に、学習後の気持ちや思いを記述する欄や学期末等に学んだことをまとめて記述する欄を設けている。</p>
<p style="text-align: center;">学 研</p>	<p>ア 発問は、全学年で、教材文の終わりの「考えよう」に記載している。第1学年「しんせつにすると気持ちがいい」を主題とする「はしの上のおおかみ」では、「おおかみは、なぜ、まえよりずっといい気持ちになったのかな」など、2つの発問を示している。</p> <p>イ 問題解決的な学習を行う教材は、全学年で、「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークで示し、学習過程の例を発問とともに示している。</p> <p>ウ いじめ問題を扱った教材は、いじめの問題をテーマにした複数の内容項目の教材を特設ページとともに配置し、全学年で目次及び該当ページに「いじめ防止」マークを付けて示している。第5学年では、主題名「不正に立ち向かう強さ」で、「C-13 公正、公平、社会正義」の内容項目の教材として、「いじめをなくすために」を選定している。</p> <p>エ 全学年で、巻頭には、目次の前に「詩」を掲載している。巻末には、「つなげよう 広げよう」を設け、巻頭と連動したページになっている。全学年で、Webにつながるマークとともに資料等にリンクする「二次元コード」を示している。</p> <p>オ 全学年で、巻末「つなげよう 広げよう」に、心に残った話や言葉・人に伝えたい言葉・自分へのメッセージを記述する欄を設けている。</p>

2 教科書展示会アンケート集計結果

(1) 回収枚数 34枚

(2) 回答者の状況

所属

小学生(義務教育学校前期課程)	
中学生(義務教育学校後期課程)	1
高校生	
小学生 保護者(義務教育学校前期課程)	3
中学生 保護者(義務教育学校後期課程)	
高校生 保護者	
小学校 教員	1
中学校 教員	
義務教育学校教員	
高等学校教員	
その他	29
無回答	
合計	34

(3) 特に関心を持たれた教科書

国語	6	書写		社会	21
地 図	2	算 数	6	理 科	4
生 活	3	音 楽		図画工作	
家 庭		保 健	2	外国語	4
「特別の教科」道徳	11				

(4) 感想・意見

○中学生

【特別の教科 道徳】

- ・ 意外とうすかったけど、面白かったです。

○小学生 保護者

【社会科】

- ・ 日本文教は、南京事件について議論があること、我が国が太平洋戦争に進まざるを得なかった理由について触れています。

【算数科】

- ・ 出版社が多く、選択の苦勞ありがとうございます。
- ・ 本市は長く日本文教出版を採択していますが、教科書が変わることによって、教材の提示の違いを考える機会を教員に与えることを逃しています。

【全体に係るもの】

- ・ ホームスクーリングの子のために貸し出しができるようになるとよい。

○小学校 教員

【保健】

- ・ 「多様性」「個人差」という言葉はどの会社にも見られますが、具体的に示してあるものが少ないのが残念です。
- ・ 文教社は、「細菌は必ずしも悪者ではないこと」という記述があり、よいなと思った。

○その他

【国語科】

- ・ 文学作品、物語に私が子どもの頃と同じものがいくらか残っていて安心した。
- ・ 光村図書を見慣れています、教育出版や東京書籍を読ませてもらい、とても新鮮だった。安東みきえさんの「さなぎたちの教室」がよい作品だなと思った。

【社会科・地図】

- ・ いろいろな写真が写っているからよかった。
- ・ 日本の歴史だけでなく政治についても載っており、かなり勉強になる内容だと思った。
- ・ 日本文教出版の社会が、子どもの目線でいっしょに考えていくことができ、楽しく学習をできるように思う。
- ・ 東京書籍は2冊に分かれているが、他は1冊。こんな分厚い教科書をランドセルに入れて運ぶのは大変だ。
- ・ 政治と歴史は切っても切れない関係があるので、「歴史」と「政治、国際」2分冊はよくない。
- ・ どの教科書にも米づくりカレンダーがありますが、写真、グラフ、絵、説明、一番分かりやすいのは日本文教出版だと思いました。特に中干しの説明は気に入りました。
- ・ 歴史で神話を扱う以上、教育出版の「これは神話といわれ、すべてが事実ではありませんが…」の書き方が必要だと考えます。古事記・日本書紀は、自分たちの政権を正統とするため、神の世界を持ち出して浸透させたものと考えます。今の教育で、それを客観的に伝えることが大切。
- ・ なぜ日本に朝鮮の人たちが多いのかが理解できる記述がない。東京書籍が比較的ふれている。
- ・ 教育出版は、アジアの国々に行った加害の立場の記述もあり、戦争下の日本の人々に与えていた苦しみや苦労についても書かれていて、分かりやすい内容となっている。
- ・ 日本文教は、「アジア・太平洋へと広がる戦争」の章において、日本の侵略・加害という視点の記述が弱い。
- ・ 教育出版は、「戦争と人々の暮らし」において、「加害」という視点での記述が弱く、日本の被害の面の写真が重視され、戦争の加害・被害の両面を学ぶというバランスに欠けていると感じた。
- ・ 東京書籍は、「アジア・太平洋に広がる戦争」において、日本軍の加害の視点が大きすぎる。また、日本の被害だけではなく、日本が戦争を拡大させていったという認識が必要だと思う。
- ・ 日本文教の山本五十六のコラムは美化しすぎではないか。戦争について、国民、アジアの人々への多大な犠牲をもっと学習すべきではないか。
- ・ アジア・太平洋戦争では、強制連行の記述がなくて、「多くの朝鮮人と中国人が動員された」になっている。
- ・ 日本文教や教育出版は沖縄戦や広島・長崎の原爆についてもしっかり記述があり、特に日本文教は、沖縄戦での「集団自決」も記述があり、感心しました。
- ・ 沖縄戦での集団自決についての記述が、「アメリカ軍に追いつめられ」等、アメリカ軍の攻撃だけが要因のようになっており、違和感を覚えます。
- ・ 集団自決への日本軍の関与の記述がない。
- ・ 日本が二度と戦争に加担しないためには、教育できちんと史実を教えることだと思う。三者とも沖縄戦の集団自決について日本軍のことにはふれていないなどの問題点はあるが、教育出版がよいと思った。

- ・ 東京書籍や日本文教には、日本の戦時の加害責任の記述がない。二度と戦争をしてはならない、憲法は絶対に守らなければならないことを考えさせる教材として不適ではないか。
- ・ 東京書籍は、「国民主権」の説明があいまいで天皇が多めに登場してくるので、子どもには分かりにくいのではないか。「基本的人権の尊重」という点でも、具体的な人権侵害の例がなく、イメージしにくいだろう。「平和主義」という点でも、憲法9条の紹介がないので、理解しにくい。
- ・ 基本的人権や外国人に関して記述が薄く、国際社会の一員である現代の子どもたちが学ぶべき事項が不足していると感じる。
- ・ 女性の権利はどう変わったのか、厳しい差別を受けた人→水平社→今はどうなのか。
- ・ 自衛隊が世界有数の軍隊だと伝えていない。
- ・ 領土問題について、どの教科書にも一方的な日本政府の見解が書いてある。子どもたちに考えさせるというのが教育の大きな目標なら、一方的な押し付けではなく、なぜ問題が残っているのか、相手の主張はどうなのかも知らせるべきでは。
- ・ 教育出版の記述に「国にとって領土は大事だが、となりの国々とは仲良くしていきたい」という児童の絵があることはよいと思った。
- ・ 教育出版は、多文化共生や人道的国際貢献、日本が外国に与えた不幸な歴史についても触れており、教室にいる外国籍の子どもたちとの議論のソースが与えられるものとなっている。
- ・ 2冊同じような内容だが、文字が読み取りやすくすっきりしているのは帝国書院だと感じた。

【算数科】

- ・ 4年生の内容、すべての子が理解できるか。つめこみすぎでは。

【保健体育科】

- ・ 性の多様性の記述が入ったのはよかった。

【外国語科】

- ・ どれも難しそうで、英語嫌いにならないか心配です。教える先生方の負担が大きくなるかもしれないかも心配です。

【特別の教科 道徳】

- ・ どの出版社にもたくさんの教材が載っていることに驚いた。ただ、教材に縛られてしまうと、自由な考えを引き出すことが難しいと思う。
- ・ 子どもたちに読ませたい題材が多くありました。しかし、こうあるべき姿として徳目的に押し付けるものもあり、どうかなと思う。
- ・ 光村図書の6年生にローザ・パークスの話がありました。差別・人権を扱うよい教材だと思いました。人権、生きる権利が保障される筋道、運動にまで学習を発展させる工夫をしてほしいと思う。
- ・ 「国」「日本」という言葉があちこちに使われているのが気になります。幼い頃からあえて愛国心を押し付ける意図を感じる。子どもの心を自己評価させることはやめてほしい。
- ・ グローバル化しているというのに、LGBTQや難民問題について取り上げられていない。道徳の評価についても、人の考えを点数化することに疑問。
- ・ もっとLGBTQの人々に対する理解を深める教材が必要。
- ・ 東京書籍の中に「いじめ」が法律に違反するものだという教材があった。心を育てていくために偉人や豊かな心を扱うことも大切だが、いけないことなのだ、法律に違反し罰せられるんだという意識をもたせることも大切だと思う。

【全体に係るもの】

- 昔と今では全然内容が違い、大人が見てもためになる。
- 平和学習，人権学習，性教育はどの時代でも大切にすべき。悲しい事件が多い中，何が正しいことなのか判断できる人に成長するうえで，教科書は貴重な存在。
- どの教科書も QR コードがあり，理解の早い子にとっては便利な面もあるかもしれませんが，地域で夏休み等子どもの宿題を見ていると、タブレットに答え合わせややり方などを任せ，理解されないままの児童もいます。
- 教科書選定に当たっては，対象図書の中から適切と思われるものを1～2程度に絞り答申をすることができないのか。
- 各教科書の差異が簡易に比較できる形で答申をすることができないのか。
- 現在使用されている教科書との相違点が比較でき，現在使用されている教科書に対する学校現場での声も合わせて答申をすることができないのか。
- 現場の教職員が教科書を選べるようにする必要があります。

3 参考資料

2023年度（令和5年度）使用福山市立小学校用教科用図書一覧

種 目		発行者名	教科書名
国語	国語	光村図書出版	国語
	書写	光村図書出版	書写
社会	社会	東京書籍	新しい社会
	地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
算数		日本文教出版	小学算数
理科		東京書籍	新しい理科
生活		大日本図書	たのしい せいかつ
音楽		教育芸術社	小学生の音楽
図画工作		日本文教出版	図画工作
家庭		東京書籍	新しい家庭 5・6
保健		東京書籍	新しい保健
外国語		光村図書	Here We Go!
特別の教科 道徳		学研教育みらい	新・みんなの道徳

2024年度（令和6年度）使用小学校用教科用図書一覧

発行者 番号	発行者名	種 目												
		国 語	書 写	社 会	地 図	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	外 国 語	家 庭	保 健	道 徳
2	東京書籍	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
4	大日本図書					○	○	○					○	
9	開隆堂出版									○	○	○		
11	学校図書					○	○	○						
15	三省堂										○			
17	教育出版	○	○	○		○	○	○		○				○
26	社団法人信濃教育会出版社						●	●						
27	教育芸術社								○					
38	光村図書出版	○	○					○			○			○
46	帝国書院				○									
50	大修館書店												○	
61	新興出版社啓林館					○	○	○			○			
116	日本文教出版			○		○				○				○
207	文教社												○	
208	光文書院												○	○
224	G a k k e n												○	○
発行者数		3	3	3	2	6	6	7	2	2	6	2	6	6

合計 259点（●は見本本なし）